

各 位

普通鋼電炉工業会

## 「2015年 電炉鋼材フォーラム」開催のご案内

### 東京会場

拝啓、時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

普通鋼電炉会社は、鉄スクラップを電気炉により溶解・圧延し、鉄筋、形鋼、平鋼、厚板等の電炉鋼材を生産しております。電炉鋼材は建設分野を中心に幅広く使用されており、また今日、環境・資源循環等の観点からも鉄のリサイクルによって生まれる電炉鋼材への関心は日々高まっております。

当工業会では、毎年「電炉鋼材フォーラム」を開催し、官公庁・自治体・建設会社・設計会社・鉄骨加工・鉄筋加工・流通・教育研究関係をはじめとするユーザーの方々をお招きし、電炉鋼材の生産技術、鋼材使用の動向、電炉業をめぐる動きについての情報発信の場となるよう企画しております。

東京会場は、下記のとおり開催いたしますので、関係の方々のご出席をいただきますようご案内申し上げます。

敬具

### 記

- 1.日 時：平成27年10月6日（火） 午後1時～4時20分
- 2.場 所：東京国際フォーラム 7階ホールB7  
(東京都千代田区丸の内3-5-1 裏面案内図ご参照)
- 3.内 容：「2015年電炉鋼材フォーラム プログラム」をご覧ください。  
\*参加費無料です。 当日、関連資料を配布いたします。
- 4.パンフレット展示コーナー：東京国際フォーラム ホールB7会場内に開設します。  
\*会員会社の製品パンフレットを入手・持ち帰りができます。
- 5.申込方法：F A X：別添「参加申込用紙」にご記入の上ご送信ください。  
当工業会ホームページ <http://www.fudenkou.jp>からも申込みができます。
- 6.申込み期限：東京会場 平成27年9月25日（金）  
\*なお、会場定員に達した場合は締め切とさせていただきます。  
申し込まれた方の確認は、当日会場受付でさせていただきます。  
事前に入場証等はお送りいたしません。
- 7.申込・問合せ先：普通鋼電炉工業会 TEL 03-5640-1122 FAX 03-5640-1125  
(〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-2-10 鉄鋼会館3階)

以上



# 2015年電炉鋼材フォーラム

主催 普通鋼電炉工業会

## 《プログラム》

### 1. 開催日時場所

開催日	場所	開催時間：午後1時00分～4時20分	参加費：無料
平成27年10月6日(火)	東京	東京国際フォーラム ホールB7(7階)(定員500名)	東京都千代田区丸の内3-5-1 TEL03-5221-9050
平成27年10月27日(火)	名古屋	名古屋国際ホテル 老松(2階)(定員200名)	愛知県名古屋市中区錦3-23-3 TEL052-961-3111
平成27年10月30日(金)	大阪	マイドームおおさか Dホール(2階)(定員350名)	大阪府中央区本町橋2-5 (当日専用)TEL06-6947-4304

### 2. 会場プログラム

・以下プログラム内容は各会場共通 各社パノフレット展示

\*普通鋼電炉工業会 TEL 03-5640-1122 FAX 03-5640-1125 <普電工 ホームページ <http://www.fudenkou.jp>>

13:00-13:10

## 開会挨拶

13:10-13:40 発表30分(質問時間を含む)

## 最近の電炉鋼材の概況 — 電炉業の紹介ビデオ「DENRO」(改定版) —

普通鋼電炉工業会 品質管理委員会

普通鋼電炉鋼材は、主に建設分野で使用される鉄筋棒鋼、厚板、一般形鋼、H形鋼、平鋼等の製品に加工される。製造工程においては、鉄スクラップを主原料として電気アークにより超高温溶解し、精錬・圧延工程を経て、新しいクリーンな鉄を再生している。資源循環型産業である電炉業の紹介ビデオ(改定新版)を上映するので、ご覧頂きたい。

13:40-14:30 発表45分 + 質問時間5分

## 講演

## 「東南アジア経済圏の進捗とビジネス環境」

日本貿易振興機構 海外調査部アジア太平洋課長 博士(経済学) 池部 亮

アジア地域のなかで、東南アジア諸国(ASEAN)が2015年末のASEAN経済共同体(AEC)の発足を前に注目を集めつつある。中でもメコン地域はカンボジア、ラオス、ミャンマーなどの新興国もあり、新たなビジネス展開先として関心が高い。一方、ASEANは民族、宗教、文化など多様な国々の集合体であり、人口やGDPといった経済規模も大きく異なる国々から成る。多様なASEANの経済情勢と日本企業にとってのビジネス環境について、貿易データやアンケート結果などを用いて解説する。

14:30-14:40 休憩

14:40-15:30 発表45分 + 質問時間5分

## 講演

## 「鉄筋機械式継手の現状と将来」

清水建設(株) 生産技術本部建築技術部 上席エンジニア工学博士 角陸 純一

建築工事の合理化工事として1980年代から鉄筋先組工法やプレキャスト工法が行われるようになったが、この合理化工法では多数の鉄筋継手を同一断面で施工する必要があり、最適な継手工法として種々の機械式継手が開発された。これらの機械式継手の中で施工性等の問題をクリアしたねじ継手とモルタル充填継手が現在広く使用されている。これらの継手の現状と将来への課題について述べる。

15:30-16:20 発表45分 + 質問時間5分

## 講演

## 「国内外の鉄スクラップ需給の現状と展望」

(株)鉄リサイクリング・リサーチ 代表取締役 林 誠一

鉄の資源循環は、易選別性、易溶解性の2大特性を基に有史以来行われてきた。電炉はその重要な担い手となっているが、現状は供給側、需要側ともに課題を背負っている。国内発生は社会の成熟化と共に先細りの方向にあるが、需要の減退がそれを上回り、外需依存が高まる中、主な向け先である韓国や中国では自給化が顕在化してきた。中国では低廉な鉄鉱石価格が、スクラップ使用を抑制している。



## 2015年 電炉鋼材フォーラム 申し込み用紙

\*\*\*申し込み会場にレ点を入れてください。

\*\*\*お申込は会場ごとをお願いします。

□東京会場 2015年10月 6日(火)開催於:東京国際フォーラム7F ホールB7 [申込期限:9月 25日(金)]

□名古屋会場 2015年10月27日(火)開催於:名古屋国際ホテル2F 老松 [申込期限:10月13日(火)]

□大阪会場 2015年10月30日(金)開催於:マイドームおおさか 2F Dホール [申込期限:10月16日(金)]

<申込者> ご出席者をお知らせください。よろしくお願ひ申し上げます。

会社名等		
所属役職		
氏名(ふりがな)	( )	どちらかに○を付けてください。 申込者は、出席・欠席する。
住所	〒	
連絡先	TEL	FAX

**出席者の業種 ○印をお付けください。**

1. 官公庁、自治体、教育、団体関係 2. 建設会社 3. 設計会社 4. 橋梁メーカー 5. 鉄筋加工・圧接関係  
6. 鉄骨加工関係 7. 機械・造船・自動車 8. 商社、流通、特約店等 9. その他( )

普通鋼電炉工業会からは参加証を事前にお送りしませんので、申し込まれた方は当日会場受付にお出でください。

出席者氏名 出席者確認のための名簿を作成します。 \*用紙は必要に応じ、コピーして下さい。

会社名	所属役職	氏名 (ふりがな)	Tel
		( )	
		( )	
		( )	
		( )	

\*ご案内先の変更・修正等がございましたら、本案内の封筒に指示をご記入の上、FAX 03-5640-1125宛にご送信下さい。 □宛先変更 □送信中止 (理由: □業務に不要のため □その他)